バッハ：教会カンタータ第140番　BWV.140
Wachet auf, ruft uns die Stimme

初演は 1731 年 11 月 25 日、三位一体節後第 27 日曜日である。この祝日は復活節が 3 月 26 日以前に繰り上がった年にのみ営まれる。その翌週は教会暦での新年度、待降節となる。(最近では 2008 年 11 月 23 日。)

コラール・カンタータ形式。元のコラールはフィリップ・ニコライ作曲。そのコラールを第 1 曲、第 4 曲、第 7 曲に用いている。そのコラールの着想の原点となっている三位一体節後第 27 日曜日の福音書章句（マタイ伝第 25 章 1 から 13 節）では、花婿の到着を待つ花嫁のたとえを用いて、神の国の到来への備えを説く。それをふまえ、真夜中に物見らの声を先導として到着したイエスが、待ちこがれる魂との喜ばしい婚姻へと至る情景を描いている。

1. Coro

Wachet auf, ruft uns die Stimme,　　目覚めよ、と声が我らに呼びかける、
目覚めよ(汝らよ)、　呼ぶ　我らに　　声が

der Wächter sehr hoch auf der Zinne,　　見張り番がとても高い尖塔の上で、
見張り番(男単)が　大変　高く　～の上で　尖塔

wach auf, du Stadt Jerusalem!　　汝、イェルサレムの町よ、目覚めよ、と。
目覚めよ(汝)、　汝　町　イェルサレム

Mitternacht heißt diese Stunde;　　時は真夜中である。
真夜中　～と称する　この　時は

sie rufen uns mit hellem Munde:　　彼らは朗らかな声で我らに呼びかける。
彼らは呼びかける　我らに　朗らかな　口(複数)で

Wo seid ihr klugen Jungfrauen?　　汝ら、賢い乙女達はどこにいるのか？
どこにいる　汝らは　賢い※　乙女達は　　※前に die が省略(klugen 弱変化 複数 1 格)

Wohl auf, der Bräutigam kömmt;　　さあ、花婿がやって来る。
さあ　花婿が　来る　　※ Wohl auf(さあ、元気よく、健やかに)

Steht auf, die Lampen nehmt! Alleluja!　　汝、立ち上がれ、灯火を取れ。アレルヤ
立ち上がれ(汝)　灯火を　取れ(汝)

Macht euch bereit zu der Hochzeit,　　汝ら、婚礼に向けての準備をせよ。
しなさい　汝らを　準備のできた　婚礼

Ihr müsset ihm entgegen gehn!　　汝らは彼を出迎えなければなりません。
汝らは　～ねばならぬ　彼を　出迎える(entgegen_gehen)

2. Recitativo　(T)

Er kommt, er kommt,　　彼が来る、彼が来る
彼が　来る　　彼が　来る

Der Bräutigam kommt!　　花婿が来る
　　花婿が　　来る

Ihr Töchter Zions, kommt heraus,　　汝ら、シオンの娘たちよ、出てきなさい。
汝ら　娘達よ　シオンの　　出てきなさい(heraus_kommen,出てくる)

Sein Ausgang eilet aus der Höhe in euer Mutter Haus.　　彼は天から､汝らの母の家へと急ぎ向かっている。
彼の　　外出は　急ぎ行く　から　天　　へ　　汝らの　母の　家

Der Bräutigam kommt,　　花婿が来る。
　　花婿が　　来る

der einem Rehe und jungen Hirsche gleich　　ノロジカや若い雄鹿と同じく
　　ノロジカ　　若い　　雄シカ　　と同じく

auf denen Hügeln springt　　丘を飛び越え
　　丘を　　飛び越え

und euch das Mahl der Hochzeit bringt.　　我らに婚礼の食事を持ってくる。
　　我らに　　食事を　　婚礼の　　持ってくる

Wacht auf, ermuntert euch!　　目覚めよ、奮起して
目覚めよ(汝ら)　　奮起せよ　汝ら

Den Bräutigam zu empfangen!　　花婿を受け入れるのだ！
　　花婿を　　迎え入れるために

Dort, sehet, kommt er hergegangen.　　あそこだ、見よ、彼がこちらにやって来ている。
あそこだ　見よ　来る　彼は　こちらにやって来た(V 完分)

3. Aria (Duetto,S・B)

S: Wenn kömmst du, mein Heil?　　あなたはいつ来るのですか、救い主よ。
　いつ　来る　　あなた　私の　救い主よ

B: Ich komme, dein Teil.　　私は来る、お前のところへ。
　私は　来る　　おまえの　所へ

S: Ich warte mit brennendem öle.　　私は灯火(燃える油)をもって待っています。
　私は　待つ　～を持って　燃える　油を

S: Eröffene den Saal　　広間を開いて下さい。
　　開け　　広間を

B: Ich öffene den Saal. 私は広間を開く。
私は　開く　広間を

SB: Zum himmlichen Mahl. 天の宴のために。
～のために　天国の　食事

S: Komm, Jesu! 来て下さい、イエスよ。
来て下さい　イエスよ

B: Komm, liebliche Seele! 来なさい、愛する魂よ。
来なさい　愛する　魂よ

4. Choral (T)

Zion hört die Wächter singen, シオンの娘は、見張り番達が歌うのを聞き、
シオンは　聞く　見張り番たちが　歌う

Das Herz tut ihr vor Freude springen, 彼女の心は、喜びを前にして飛び跳ね
心を　～する 彼女の　前に　喜び　飛び跳ねる

Sie wachet und steht eilend auf. 彼女は目覚め、急いで立ち上がる。
彼女は　目覚める　立ち上がる　急いで

Ihr Freund kommt vom Himmel prächtig, 彼女の恋人は天から壮麗に来る、
彼女の 恋人は　来る　～から　天　壮麗に

Von Gnaden stark, von Wahrheit mächtig, 恩寵の故に強く、真実の故に力強く、
～の故に　恩寵　強い　～の故に　真実　力強い

Ihr Licht wird hell, ihr Stern geht auf. 彼女の光は明るくなり、彼女の星は昇る。
彼女の　光は　なる　明るく　彼女の　星は　昇る

Nun komm, du werte Kron, 今こそ来て下さい、価値ある冠よ
今　来て　汝　価値ある　冠よ

Herr Jesu, Gottes Sohn! Hosianna! 主イエス、神の子よ、ホサナ！
主　イエス　神の　子　ホサナ

Wir folgen all zum Freudensaal 我らは皆、喜びの広間へと付いていき、
我らは　付いていく　皆　～へ　喜びの広間

Und halten mit das Abendmahl. 晩餐に参加します。
参加する(一緒に食べる)　晩餐を

5. Recitativo (B)

So geh herein zu mir, そう、私に入りなさい、
入れ　私に

Du mir erwählte Braut! 汝、私に選ばれた花嫁よ！
汝　私に　選ばれた　花嫁よ

Ich habe mich mit dir 私はお前と
私は　（私を）　お前と

Von Ewigkeit vertraut. 永遠に結婚するのだ。
永遠に　結婚させる

Dich will ich auf mein Herz, auf meinen Arm gleich 私はお前を、私の心と同じく私の腕の上に
お前を　私は　～の上に　私の　心　私の　腕　同じく

wie ein Siegel setzen 印章のように刻みつけよう。
～のように　印章　置く、書き入れる、印刷する

Und dein betrübtes Aug ergötzen. そしてお前の悲しげな目を喜ばせよう。
お前の　悲しげな　目を　喜ばせよう

Vergiß, o Seele, nun 今や魂よ、忘れよ、
忘れよ　魂よ　今や

Die Angst, den Schmerz, 不安や苦痛を、
不安を　苦痛を

Den du erdulden müssen; お前が耐え忍ばなければならないところの。
（関代）　お前が　耐え忍ぶ　～なければならない

Auf meiner Linken sollst du ruhn, お前は私の左手で休みなさい、
私の　左手で　～せよ　お前は　休む　（sollen=話者の意志）

Und meine Rechte soll dich küssen. そうすれば私の右手がお前にキスするだろう。
私の　右手が※　だろう　お前に　キスする

※．第5曲の話者が「神」ならば、その「右側の者＝イエス」がキスをする、と訳せるだろう。しかし当曲の話者は「私に選ばれた花嫁よ」と語っているのだから、第3曲や第6曲と同じくバスのソリスト＝イエスと考えるべきである。だからイエスはシオンの娘を「左で抱き右手でキスする」と解釈せざるを得ないだろう。

6. Aria (Duetto,S・B)

S: Mein Freund ist mein, 私の恋人は私のもの。
私の　恋人は　私のもの

B: Und ich bin sein. そして私は彼（＝神）のもの。
そして　私は　彼のもの

S+B: Die Liebe soll nichts scheiden. 何者もその愛を引き裂くことはないでしょう。
その愛を　何者も～ない　分ける

S: Ich will mit dir in Himmels Rosen weiden.　私はあなたと、天国のバラの園で草を食むだろう。
私は　あなたと　～で　天国の　バラ(複)　草を食む

B: Du sollst mit mir in Himmels Rosen weiden,　お前は私と、天国のバラの園で草を食むだろう。
お前は　私と　～で　天国の　バラ(複)　草を食む

S+B: Da Freude die Fülle, da Wonne wird sein.　ここで喜びは充ち、歓喜となるでしょう。
ここで　喜び　充満　ここで　歓喜　なるでしょう

7. Choral

Gloria sei dir gesungen　栄光の賛歌があなたに歌われますように
栄光の賛歌が　～あれ　あなたに　歌われる

Mit Menschen und englischen Zungen,　人々および天使の舌とともに
～と　人々　天使の　舌(複)

Mit Harfen und mit Zimbeln schon.　ハープとシンバルをもって。
～と　ハープ　～と　シンバル　もう、さあ、

Von zwölf Perlen sind die Pforten,　門が 12 の真珠でできている
～でできた　12 の　真珠　門(複)は

An deiner Stadt sind wir Konsorten　そのあなたの町において我らは一味となる
～において　あなたの　町　我らは　一味・同類・構成員

Der Engel hoch um deinen Thron.　天使は高くあなたの玉座を巡っている。
天使は(ms)　高く　～を巡って　あなたの　玉座

Kein Aug hat je gespürt,　かつてどんな目も見たことがなかった、
～ない　目は　かつて　知覚した

Kein Ohr hat je gehört　かつてどんな耳もきいたことがなかった、
～ない　耳は　かつて　聞いた

Solche Freude.　そんな喜びを。
そんな　喜びを

Des sind wir froh,　そのことを我らは喜んでいる
それを(2 格)　我らは　喜んでいる

Io, io.　イーオー、イーオー。
ラテン語の歓声

Ewig in dulci jubilo.　永遠に、甘い歓呼の中で。
永遠に　～の中で　甘い　歓呼
pre 奪　dulcis 奪　jubilum 奪　in 以降ラテン語